

1 研究授業・視点説明

- 研究発表・視点説明がとても分かりやすかった。
- 視点が明確に分かったので、授業研究会に主体的に取り組むことができた。

2 授業発表Ⅰ（体づくり運動）

- 学習用具の工夫をすることで児童の活動の幅を持たせることができると実感した。
- 児童が授業で行う動きの工夫や選択、発言を引き出すためには、低学年からの積み重ねと授業の準備がとても大切だと感じた。
- 授業中の児童への「声かけのタイミング」の重要性に改めて気付かされた。
- 児童が主体的に運動に取り組むには、単元の構成などを工夫していく必要を感じた。
- 基本的なレディネスをそろえておくと、学習効果がさらに高まるのではないかな。
- いろいろな用具が準備されており、児童の意欲を高めることができていた。自分の授業でも実践したい。
- 運動を苦手とする児童もいる中で、「できる」という達成感を持たせるために様々な道具や運動の組み合わせがあることが分かり、とても参考になった。
- チャートの使い方は難しさもある一方、良い効果もあると思う。今後、さらに実践を重ね、よりよいものが作れると、体づくり運動に活用することができるのではないかな。

3 授業発表Ⅱ（体づくり運動）

- 学級経営が根本にあり、指示が短くても児童が理解し、運動量が十分に多い授業だった。
- 児童が本当に楽しそうに活動していて、とても印象的だった。
- 学習資料の提示の仕方など、参考になることがとても多かった。
- ワークシートや掲示物が工夫しており、今後の授業の参考にしたい。
- めあての「組み合わせの工夫」は、どう工夫すると良いことなのかということが分かりにくかった。また、児童自身も理解できているか疑問に思った。
- 児童の発言に対して教師が「どうして？」「それってどういうこと？」と声かけをされていた。児童の発言の真意・考えを、教師が深く理解するためや児童同士が共通理解するためにも、とても大切なことだと思った。

4 授業研究会

- 全体会とグループ協議があり、今後に生かせる意見交換ができた。また、体づくり運動に対する考え方を整理することができた。
- 各班で話し合ったことを確認できたことが、とても参考になった。
- グループ協議では、同じグループの先生方の意見や考えを聞くことができた。また、これまでの先生方の指導方法やその時の児童の様子を伺えたことを今後の授業に生かしたい。

- 今後も、「深い学び」とは何なのかと考えながら実践を重ねていきたい。
- 体づくり運動における評価については、もう少し理解を深めていく必要がある。
- どちらの授業でも「選ぶ」という内容があったが、難しいのではないかと感じた。今後、自身の課題として考えていきたいと思う。
- 現職教員と話す機会はとても学ぶことが多い。(参加大学生)

5 ポスターセッション（西都市・高原町・派遣研修生）

- 「身に付けたい力」を精選し授業を計画することは、児童が楽しく活動できることにつながるの
で、とても良い実践だと思った。
- 3つの研究について聞いたことは、視点を広げる上でたいへん参考になった。
- それぞれの発表内容がとても興味深いものだった。ポスターセッションの質疑・協議等の時間が
もう少しほしい。
- すぐにでも実践できる内容だったので、すぐに授業に生かしたい。

6 開会行事・閉会行事

- 特になし。

7 運営面（日程・会場設営・案内・役割など）

- 県南から参加したが、受付等の時間をもう少し遅くしていただけるとありがたい。

8 その他

- 特になし。